

# 第4回 石山・東石山地域 地域の公共施設のこれからを考えるワークショップ

## 1. 修正された評価軸・評価項目に対する意見

### (1) 財政負担について

- 今後30年と区切って試算をしているが、30年を過ぎてもコストを削減していかなければいけないので、30年と区切る必要はないのではないか。

### (2) 多世代の集う場について

- 評価項目に「多世代（子育て世代、小中学生、学生、高齢者等）」と具体的に入れてもらったのは良かった。世代によって必要だと思う機能は違うと思うので、今後ソフト面を考える際にはそれぞれの世代の意見をきちんと聴いてほしい。

### (3) サービスの維持について

- 「部屋の予約が埋まっていて使いづらい」という課題解決の狙いが「現状のサービスを維持できる」というのに違和感がある。現状で使いづらいと感じているのだから、そのサービスを維持するのでは課題解決できていないのではないか。

### (4) 防災機能の維持について

- 防災に関する評価軸を追加してもらえて良かった。前回出した意見が反映されていると、意見を出して良かったと思える。
- 現在、石山・東石山地域で避難所指定されている、各小中学校、シルバーピア石山が避難所として維持されるのであれば問題ない。
- 既存の指定避難所の維持は当たり前のことなので、「再配置によって地域の防災機能、災害時対応の向上が期待できるか」を評価項目に入れてはどうか。再配置後の各施設が避難所指定されないにしても「補助的な避難場所として機能できるか」、「マンホールトイレや備蓄倉庫等を設置することが可能か」等を評価してほしい。

### (5) その他

- 越後石山駅前に新施設を建設したら交通量が増え、渋滞や路上駐車、騒音などが問題になるかもしれない。越後石山駅付近は住宅が多いので、「近隣住民の生活環境に支障がないか」という評価の視点もあると良い。

## 2. 修正後の再配置案に対する意見

### (1) 案全般について

- 各年代の人口構成や独居高齢者の数などを見ながら施設の配置案を考える必要があると思う。
- シルバーピア石山の風呂の需要は以前より減っていると思うし、近隣には田舟の里のような代わりになる施設もあるので、維持費がかかることを考えると廃止しても良いのではないかと。
- シルバーピア石山の風呂機能は災害時にも役立つし、廃止されると現在利用している人達が困るだろう。利用率を確認した上で廃止を決めたのかを知りたい。
- フリースペースが学習スペースも兼ねると、さまざまな利用者がいるので静かに勉強に集中することができないのではないかと。内野まちづくりセンターの学習室のように単独の部屋にしてほしい。
- シルバーピア石山は、現状の規模では避難所として受け入れ人数を増やすことは難しいと思う。避難所機能を充実してはどうか。

### (2) 再配置案Ⅰについて

- 前回の資料を補足修正して、大規模改修することが明記されたり、案の特徴が追加されたのは良かった。
- 計画策定後、完成までに約5～6年かかると聞いた。10年後なら既存施設の老朽化が進むので、新施設を建てる案も考えられるだろう。しかし、石山地区センターは耐震工事もしているので壊すのはもったいないし、今はこのまま施設を改修しながら使う方が良いと思う。

### (3) 再配置案Ⅱ・Ⅲ・Ⅳについて（共通意見）

- シルバーピア石山には図書館機能がなくなるにも関わらず、学習スペースを整備することに違和感がある。図書館に併設されていない学習スペースを使う人がいるのか疑問だ。図書館と学習スペースはセットが良い。
- 最近の子ども達は、図書館の本ではなくタブレットやスマートフォンを使って調べ学習をしているので、学習スペースと図書館がセットでなくてもよいと思う。Wi-Fiを完備した方が実用的ではないか。

### (4) 再配置案Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴについて（共通意見）

- いずれの案でも「園芸センター記念公園の一部を活用する」とあるが、一部というのはどのくらいの規模なのかをもっと明確にしてほしい。駅前の土地だけでは新施設を建てるには足りないと思うし、駐車場も必要だと思うので、大部分が無くなってしまわないかと心配だ。

- 園芸センター記念公園は、以前に廃止という話が出た時、地元住民が反対して残ったという経緯があり、ボランティアが維持管理に関わっている。地域にとっては、数少ない緑がある住民の憩いの場になっている大切な場所だ。桜も美しく、景観や眺めも良いので、全部とは言わないがそれらの自然や景観が損なわれないように配慮して残してほしい。
- 越後石山駅前に多機能拠点を整備するのを機に、バス、電車といった公共交通を充実させてほしい。

(5) 再配置案Ⅳについて

- 新施設と石山地域のコミュニティセンターが2つに分散されるので、人も車も集中しすぎず、それぞれの施設の駐車場規模が小さくて済む。中学生の学習スペースも学校近くに確保できるので、コスト面の効果は低めだが良い案だと思う。

(6) 再配置案Ⅴについて

- シルバーピア石山には既存の機能以外の新たな機能が入る空間の余地がないのではないか。

### 3. 再配置案の評価結果に対する意見

#### (1) 財政負担について

- 新しく施設を建てる案Ⅱ、Ⅲ、Ⅳがコスト削減につながるのに、改修するだけの案Ⅰが削減につながらないのはなぜか。施設の建設、改修費以外にも、維持管理費、人件費などがかかるという説明だが、総額だけ提示されても理解しづらい。各費目を算出した根拠や数値をわかるように示してほしい。
- 18、19 億円削減で◎、15 億円削減で○と評価に差がついているのはなぜか。評価の根拠を示してほしい。
- 「削減される額」ではなく、「30 年間でかかる出費」を現状維持案も含めて提示して比較評価してほしい。その方がわかりやすい。
- 市が削減したい目標金額がわからないので評価がしづらい。評価項目に「今後 30 年間の施設に関するコストを〇〇円以上削減できている」といった具体的な目標金額が入っている方が評価しやすいのではないか。
- 今後も物価は上がり、人件費や維持費も上がるだろう。案Ⅰは現状維持ではなく、現状よりも低下するのではないか。想定されているコスト削減が本当にできるかも疑問なので、各費用が何を根拠に算出されているのか説明してほしい。

#### (2) アクセスについて

- 現状で評価されているが、事業化がほぼ決まっているようなものがあれば、将来的な計画も含めて評価した方が良くと思う。バスによる越後石山駅へのアクセスなどは今後大きく変わる可能性がある。
- 車を使わない高齢者や学生もいるので、車以外のアクセスについての評価が入っているのは良いと思う。
- 新施設への交通手段として何がメインになるかによって、アクセスの評価が変わるのではないか。学生は電車かもしれないが、仕事帰りの人は自家用車で来るので、公共交通よりも車でのアクセスの良さが重要になる。公共交通も電車ではなくバス利用の方が多いのではないかと思うので、利用実態を踏まえて評価してほしい。
- 「車でのアクセスの良さ」を駐車場のスペースが確保できるかで評価しているが、施設への道路が狭かったり、渋滞が起きたりする可能性があることは評価に影響しないか。新施設ができたら車やバスでのアクセスは現状より悪くなるのではないか。
- 現状、駅利用者と石山南まちづくりセンターの利用者が使用する道路は、すみ分けが上手くできているので、駅前に新施設が整備されてもそこまで混雑するとは思えない。施設までの道路の問題があるとは思いますが、車を利用する立場から言うと、駐車場の確保が最も重要だと思う。
- 駅前に新施設を作る案になる場合は、駅前新施設の駐車場までの道路の整備を付帯条件にしてはどうか。

- 「駐車場のスペースが確保できるか」の評価は、どのくらいの規模を考えて言っているのか。立体駐車場にすれば狭い敷地でも駐車台数を確保できるので、敷地の広さで評価していることに違和感がある。
- 住んでいる地域によってアクセスの良さの評価が変わると思う。東中野山小学校区から越後石山駅前までは遠く、現状の公共交通ではアクセスしにくい。東石山地域から行政の手続き等のために行く場合も現状より便利になるわけではない。現状よりアクセスが向上するという案Ⅱ、Ⅲ、Ⅳの評価結果に違和感がある。
- 現状で評価するなら、案Ⅰの公共交通の便は他の案よりも良いと思う。案Ⅱ、Ⅲ、Ⅳの評価が案Ⅰより高いのは疑問だ。
- 案Ⅰの評価が案Ⅱ、Ⅲ、Ⅳより低いのは、駐車場を借地しており、そのコストが問題だからか。
- 案Ⅲと案Ⅳの評価結果が同じ◎なのが疑問だ。駅前の新施設へは幅員の狭い住宅地の生活道路を通してアクセスすることになるが、案Ⅳの石山地区センターの跡地の施設へは幹線道路を使って行けるので、案Ⅳの方が利便性は高いと思う。案Ⅲは案Ⅳより「多様な公共手段でアクセスが可能」なので、評価項目ごとにみた結果なのかもしれないが、それがわかりにくい。
- 案Ⅴの評価がなぜ△なのか。シルバーピアは地域の中央にあるので「地域内のどの場所からもアクセスが良いか」の項目では、案Ⅱ、Ⅲ、Ⅳよりも評価が高いはずだ。駐車場が足りないだけで総合評価が△になるとしたら納得がいかないの、評価項目ごと結果を示して説明してほしい。「地理的に中央寄りではあるが、地域の機能的な中心であるかは検討が必要」とあるが、機能的中心とはどういう意味なのかもわかりづらい。

### (3) 施設機能の集約について

- 施設を集約することが良いと評価されているが、人や車が集中し、駐車場や渋滞の問題が起こるなど、施設集約されることによるデメリットもある。車が使えない高齢者や学生にとっては身近な場所に施設があることは大切なので、(施設を)分散することのメリットもあると思う。
- スペースに余裕があると、そこで新しい活動が展開できるが、施設面積が削減され、更に機能が集約されるとますます余裕がなくなってしまう。東区役所の子ども食堂は余剰スペースにできたと聞いたが、そういった新たな取り組みがやりにくくなるのではないか。

### (4) 体を動かせるスペースについて

- 体を動かせる屋内スペースを体育館ではなく、体も動かせる多目的ホールと考えるのであれば、現状と同様のものが維持されるということなので、評価に問題はない。
- 2つの施設が集約されて新施設ができるのであれば、運動スペースを現状より拡充しても良いのではないか。

(5) 多世代の集う場について

- 中学生にとって、学習スペースは学校のそばにあった方が良いのではないかと。越後石山駅前だと石山中学校から遠くないだろうか。
- 学習スペースが越後石山駅前にあっても、石山中学校の生徒にとってはさほど大変ではないだろう。学校よりも自宅の最寄り勉強の方が、帰宅が便利なので、電車通学の高校生などにとっては、駅近の学習スペースは使い勝手が良いと思う。
- 案Ⅰの項目に「～既存施設を活用するため、一定の制限がある。」とあるが、何を指しているのかわからないので詳細を入れて欲しい。

(6) サービス維持について

- 施設を集約するとさまざまなイベントが一斉に開催されるピーク時には、駐車場が足りなくなるなど、サービスが低下するのではないかと。
- 保健福祉センター事務室が無くなり、担っていた機能は地域内で維持するというが、常駐の担当者が地域内にいなくなり、対面での対応が受けづらくなったら、サービスが維持されているとは言えないのではないかと。
- コスト算出の条件に、新施設は「既存施設の80%の面積で算定」とあるが、現状での貸室の利用が昼夜共に多いことを考えると、20%削減された面積で現状維持されるという評価に違和感がある。

(7) 防災機能の維持について

- 「現在の指定避難所が維持できるか」の項目のみだったら、どの案も差がなく○の評価で理解できる。再配置案の各施設が、避難所指定されないにしても「地域住民にとって避難しやすい場所、また補助的な避難所として機能できるのか」を評価項目に追加してもらえれば評価に差が出てくると思うので、評価結果を再検討してほしい。
- 新施設を作るのであれば、避難所の機能を入れて欲しい。コロナの時には避難受け入れ人数が通常の半分になったことも踏まえると、現状の避難場所では足りていないと思う。
- シルバーピアの浴室を貸室などにすることで避難受け入れ人数が増加され、防災機能の強化も期待できるなら、浴室は補修困難な状況や施設改修を待たずに貸室にした方が良いと思う。
- 案Ⅰ～Ⅳでは「シルバーピアの浴室を貸室等にする事で避難受け入れ人数の増加の可能性はある」ので、現状よりやや良くなる評価がされているが、駐車場スペースが狭いため、これ以上人数を増やすことは難しいのではないかと。

## 4. その他の意見

- 評価項目ごとに評価結果を出したらどうか。総合評価しか載っていないので評価結果が妥当か判断しにくい。
- 能登半島地震で被害が出た所もあるので、災害時に避難できる施設が地域内にあると良い。災害に強い施設にすることで施設コストの評価が低くなっても仕方ないと思う。住民の安心安全に必要なものにはしっかりお金をかけてほしい。
- 年上の世代がいる所では遠慮してしまうと思うので、若い世代が話しやすい場を設けて、意見をしっかり聴いてほしい。
- 最近では、コンビニにある機械で出張所の機能が満たしているが、出張所がない公共施設にも同様の機会を設置してもらえるとよい。